

令和7年度 授業改善推進プラン【3年】

小平市立小平第十四小学校

振返りの視点		児童の実態	指導上の課題	教科等	授業改善の視点	具体的な取組	評価
学校経営目標 (短期)	主体的・対話的で深い学びの実現	○国語辞典や学習者用端末を活用して、自分の興味・関心のあることを調べている。 △自分の考えをノートや学習者用端末に具体的に書く力を向上させる必要がある。	・教師による検索の方法の提示やこどもにとって分かりやすいインターネットサイトの活用。 ・個別的に自分の考えを具体的に表現する力の向上。	国語	1 ことばの時間の充実 2 「書く」活動の継続 3 学校図書館の活用	・新出漢字を用いた熟語を調べるなど、国語辞典や学習用端末を日常的に活用させ、語彙力の向上を図る。 ・初発の感想や学習の振り返りなど、書く活動を継続とともに、自分の考えをもつことができるようとする。 ・図書資料を活用して適切な資料を選び取り、課題解決する力を身に付けさせる。	
	基礎学力の定着	○観察の視点を明確にし、細かい部分まで観察することができる。 △2年生の既習事項について、十分に定着させる必要がある。 △家庭学習や復習を確実に繰り返し行い、基礎学力を向上させる必要がある。	・五感を使った観察の視点や比較・感想などの視点の活用。 ・計画的な朝学習の推進。(特に九九、漢字、繰り下がりの引き算、ローマ字入力等)		1 資料の読み取り(解釈・説明)の習熟 2 用語を適切に活用した意見の交流 3 表現の仕方の習熟	・表やグラフ、写真、文章等、様々な資料に触れさせ、必要な情報を集めめる力を養う。 ・意見交換や情報交換の仕方に習熟するよう、ペアやグループでの話し合いの場を多く設ける。「ロイロノート」内「共有ノート」を活用し、学びを共有する機会を意図的に設定する。 ・ポスターや学習者用端末を活用し、表現の仕方に親しませる。	
	体力の向上 運動への関心・意欲の向上	○個々のできるようになりたいと思う気持ちは高く、アドバイスを求めたり、動き方のポイントを調べたりする児童が多い。 △運動について消極的な児童がおり、誰でも意欲的に参加できる工夫が必要である。	・動きのポイントが提示されている学習カードや動画サイトの活用。 ・様々な運動を経験させる中で、簡単なオリジナルルールを作ったり、新しい遊びを考えたりする機会の意図的な設定。		1 問題解決的な学習の充実 2 論理的思考力の向上 3 個別支援の充実	・前時の学習との相違点を見付けさせ、既習事項を活用し、問題解決させる。 ・「まず」、「次に」、「だから（したがって）」等、具体的な話型を示し、論理的に説明させる。 ・個別に補助教材や学習者用端末を使用し、個々のレベルに合った計算練習を行い、個に応じた支援の充実を図る。 ・「量の単位」、「時間の単位」などの測定・時間の学力向上に向け、家庭学習や授業での学習において個別最適な支援を行う。	
	健全育成	○挨拶に意欲的に取り組んでいる。 ○正しい善悪の判断のもとに、クラスで行動を見直している。 ○人権意識をもって他者と関わることができるようになっている。 △3年生としての自主性をもって活動する必要がある。	・自らすすんで、様々な人に挨拶する姿勢の育成。 ・相手の気持ちを推しはかる力の育成。 ・自己の欲求と集団生活との折り合いを付ける力の育成。		1 問題解決的な学習の充実 2 「比較」の資質向上 3 事物・現象の確認の徹底	・生活経験を基に、疑問点や調べてみたいことを児童から引き出し、問題解決させる。 ・実験・観察前の予想と実験・観察後の結果を、相違点や共通点に着目させ表現させる。 ・観察の着眼点や実験の手順をしっかりと把握させてから、学習者用端末を用いて活動させる。	
学力向上	体力の向上 運動への関心・意欲の向上	○個々のできるようになりたいと思う気持ちは高く、アドバイスを求めたり、動き方のポイントを調べたりする児童が多い。 △運動について消極的な児童がおり、誰でも意欲的に参加できる工夫が必要である。	・動きのポイントが提示されている学習カードや動画サイトの活用。 ・様々な運動を経験させる中で、簡単なオリジナルルールを作ったり、新しい遊びを考えたりする機会の意図的な設定。	算数	1 表現活動の工夫 2 鑑賞活動の充実	・リズムや旋律、各声部の特徴を写真や絵、音図形で視覚的に示すことで曲想と音楽の構造との関わりに気付いて表現できるようにする。 ・曲の速さに合わせて歩く、手で拍を取りながら聴く、曲を聴いて場面の様子を想像する活動を通して音楽の構造に着眼する。	
					1 様々な表現方法や素材の体験 2 鑑賞活動の充実	・様々な表現方法や身近な素材に触れ合うことで、児童の意欲や発想を高める。 ・作品を鑑賞し合うことで、友達の作品のよさに気付き、自分の作品の創作に生かす。	
					1 全員が楽しめる雰囲気づくり 2 体力テストの結果に基づく、重点的な指導の実施	・運動が苦手な児童も意欲的に取り組めるよう、やさしい場や用具を工夫する。互いに励ましの言葉掛けや褒め合える環境づくりを行う。 ・毎学期、体づくり運動(重点: 投力、握力、持久力)による体力向上を図る。	
					1 話し合い活動や振り返りなど授業形態の工夫 2 生命尊重・いじめ防止に関する心情育成	・学習者用端末「ロイロノート」でワークシートを活用し、他者の多様な考えに触れられるように、児童相互で考えを交流させる場を設定する。 ・学期に最低3回、生命尊重やいじめ防止を扱った授業を行う。	
					1 探究的な学習の推進 2 地域参画型学習の充実	・他の教科等との関連を図りながら、身に付けるべき資質・能力を明確にして、学習者用端末を有効に活用しながら、探究的な学習活動を計画的に取り組ませる。 ・キャリア教育(地域振興)の視点に立ち、学童農園事業協力者の協力のもと、農家の仕事を体験する。また、お店番体験を通して地域の方と交流し、学んだことをまとめさせる。	
					1 学習展開のスタンダード化	・言葉や発音の特徴に慣れ親しむ機会を意図的に設定する。ゲームや状況設定による交流を組み合わせた授業を行う。	
					1 学年(学級)文化の創造 2 きょうだい学級の関わり	・学級会やクラス遊びなど学級(学年)の文化を創り、継続して取り組む機会を設定する。 ・月1回の十四小タイムや全校遠足、十四小まつり等で交流する。	